

本日は、大勢の皆様にご参加いただき、厚くお礼申し上げます。

このフォーラムは、これまで松江、出雲、益田で開催され、今回で四回目です。

島根県医師会の皆様には、このフォーラムの開催にご尽力いただき感謝申し上げます。

県内の地域医療は、医師や看護職員の不足など、依然、厳しい状況にあります。

こうした中、県では、国の支援による「地域医療再生のための基金」を活用し、お医者さんや看護師さんの奨学金制度を拡充するなど、医師や看護職員の確保・養成に取り組んでいます。

また、ドクターヘリの運航や医療情報ネットワーク「まめネット」の運用により、広域的な救急医療体制の強化や医療機関相互の連携などに取り組んでいます。

しかし、地域あるいは診療科によっては、医師不足がさらに深刻化しております。特に本日のテーマである救急医療においては、不足する医療体制の中で、関係のお医者さん方が昼夜を問わず対応されている状況にあります。

松江市においても、救急医療の確保は容易ではありません。このため、休日診療施設の設置を予定されるなど、様々な対策を講じておられます。

地域医療に係る問題は、県や市町村、医師会、医療機関だけでは解決は難しく、県民の皆様のご理解とご協力が重要であります。

このフォーラムを通して、県民の皆様の地域医療へのご理解とご関心が高まることを期待しております。

終わりに、ご参加の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。